「京大植物園を考える会」設立ご賛同のお願い

　京都大学理学部附属植物園（以下植物園）は1923年4月の開設以来80年にわたって学内外の多くの研究者のフィールドとなり、本学の学生のみならず市民に開かれた教育の場となり、同時に大学の職域や近隣の住民をはじめ植物園を知るひとたちの憩いの場となってきました。園内には、先人が集めた各国の樹木や温室の鉢植えなど学術的に貴重なコレクションがあり、その中には絶滅危惧種も含まれています。それらは今日まで大切に手入れされ保護されてきました。

　しかし昨今の大学システムの大きな変化によって、このかけがえのない場やコレクション、そこでつちかわれた人々の営為がないがしろにされるのではないかと危惧しております。これからの植物園のあり方を模索することは生物の多様性や環境を考えるうえで重要です。われわれは植物園の樹々とそこに棲息するあらゆる生物を見守りつつ学んでゆきたいと思います。

　このような考えを基盤に、植物園を先人から委ねられた研究・教育の場、また緑を満喫できる憩いの場として存続させるために「京大植物園を考える会」を設立いたしました。ひとりでも多くの方々のご協力が必要です。会の趣旨にご賛同いただきますようよろしくお願いいたします。

　なおご賛同いただきました署名は、植物園を考えるわれわれの総意として理学研究科長へ提出させていただきます。

「京大植物園を考える会」